

Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木西丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
http://clanago.com

プレイガイド
アイチケット
☎0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルディング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社 マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区葵2-11-22 アバンテージュビル305
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: http://www.mane-pro.com

名古屋初演「顔見世、オペラ」

ロシーニ「ランスへの旅」

全員主役!? それぞれに見せ場と名アリア

田尾下哲の演出 10月27、28日 芸術創造センター

まるで歌舞伎の「顔見世」のようなオールスターオペラ、名古屋の姉妹都市ターオペラ、ロシーニ市ランス(フランス)を



近野 賢一



奥村 育子



宮崎 智永



酒井 和音



つじ村ふみ恵



伊藤 貴之



石原まりあ



中井 亮一

タイトルにした名古屋初演のオペラ。

10月27、28日(いずれも午後2時開演) 芸術創造センターで催される「ランスへの旅」は名古屋市民芸術祭2018主催事業IIがそれ。

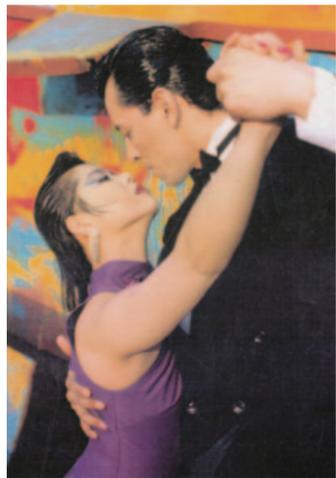
フランス国王シャルル10世の戴冠式のためにロシーニが作曲した一幕ものオペラ。登場人物は、ヨーロッパ諸国から集まった好色で好奇心旺盛な貴族たち。いわゆるドタバタ喜劇で、主役は不在。ただ、ソリストそれぞれに見せどころ、聴かせどころがあり、音楽が素晴らしいという作品だ。

この作品を体験しているのが中井亮一。07年イタリアで開演された「ロシーニフェスティバル」でのごとく、中井は「こんなオペラがあったのかと驚きました」と振り返る。そこで事業団では演出を田尾下哲に依頼。名匠の手腕にオペラの成功を託し、指揮に柴田祥、ソリストには中井を筆頭に酒井和音、宮崎智永、石原まりあ、伊藤貴之、奥

村育子、近野賢一、つじ村ふみ恵ら若手実力派をそろえた。歌唱、演技指導はエウロ・リリカの岡本茂朗。「ソリストの歌に寄り添って」と好評のフィルハーモニーカー・ウィーン名古屋が演奏を担当するのも楽しみ。全指定・1階席5000円、2階席4500円。TEL070(5646)3081。

28、29日 アートピアホールで「バレエアラウンド・ザ・ワールド」

タンゴの名匠・古瀬陽子がバレエダンサーに振り付け



陽子の振付作品

ナゴヤの若手バレエダンサーが、世界の民族音楽を踊る「Ballet Around The World」(名古屋)

文化振興事業団主催公演。注目は1990年から20年間にわたりアルゼンチンでタンゴダンサーとして活動した古瀬

陽子の振付作品だ。古瀬が振り付けるのはタンゴとフォルクローレ。それぞれ3曲、10分間のステージ。「タンゴは原則的に重心を沈ませる。女性には後退するステップもある。バレエダンサーには難しい。男子には「マッチョ」を求めますが、どうしても

優雅になってしまう」と苦笑する。タンゴの3曲は、男女6人の「La cumparsita」、タンゴの経験のある高野菜々がソロを踊る「Desde el alma」、そしてピアノの「Love vendra」は13人の群舞で見せる。愛知県立瑞陵高校から麻布大学獣医学部に進学。獣医からダンサーに転身した古瀬。アルゼン

チン留学中の95年、00年には日本公演を実現。テレビ番組の企画では藤原紀香、杉本彩のタンゴ教師としても手腕を発揮した。

公演は9月28、29日(いずれも午後2時開演)アートピアホール。古瀬のほか神戸珠利、松村一葉の振付作品を36人のダンサーが踊る。

売れっ子作曲家・羽毛田文史が名古屋初登場

10月4日 電気文化会館で「ヒット曲」満載し

「地球に乾杯」(NHK)、「ROOKIES」(愛のテーマ)(TBS系)、「オーマイ・ガール!!」(日テレ系)など、多くのテレビドラマ、ドキュメンタリー番組のテーマソングを手掛ける作曲家(ピアノ) 羽毛田文史が来名。10月4日(午後7時) 電気文化会館で自作曲を集めたソロコンサートを開く。



「エピソードもたっぷり」と羽毛田

名古屋での公演は初。「演奏家としての知名度がないので集客が心配

です」と苦笑する。長年音楽取材を続けてきた筆者も羽毛田とは初対面。プロフィールを見て

驚いた。彼の仕事は作曲だけでなく、葉加瀬太郎(ヴァイオリン)、高島ちさ子(同)ら一流アー

Enclair
TEL.052-739-6155
OPEN am11:00-pm19:00 月曜は定休

Vを聴いた。映画「ひるなかの流星」のテーマ曲、NHKドキュメント「巨龍中国」のテーマ曲など14曲。緩急多彩だが、いずれの曲にも、彼の穏やかな人間性が感じられる。インタビュでは曲作りの、さまざま面白エピソードを聞いた。「コンサート」のMCとして、名古屋の皆さんにお話ししたい」と約束。「17万能の時代だからこそ、楽器の生音を体感してほしい」と来場を呼び掛ける羽毛田だ。

全指定席6480円。TEL052(678)5310、クラシック名古屋。



11月3日 中川文化小劇場で 青山桂子とデュオコンサート

シャンソンの扉

エレナ・シー

カタカナだが、れっきとした名古屋人である。現在は東京、名古屋でヤマハの音楽教師をしながら各地で歌手活動を行っている。

前職は銀行員。ファイナンシャル・アドバイザーとして優秀な成績を挙げている。人当たりの良さ、巧みな話術にも納得だ。

「シャンソンとの付き合いは始まったばかりだが初登場の「エルム」(7月14日)では看板シンガー青山桂子と共演。意気投合した二人は、11月3日、中川文化小劇場でデュオ・コンサートを開く。「シャンソンの魅力はドラマ性。歌に情景が浮かぶような、説得力のあるシンガーになれるよう頑張ります」

MARINA CÉLESTE & 愛紀-yoshiki-
2018年9月29日 土
カフェ・コンセル・エルム
開演/19:30 入場料/¥4,500

美輪明宏
~愛の大売り出し~
2018年12月5日 水
日本特殊陶業市民会館ヒレツジホール
開演/18:30 入場料/¥9,500 (全席指定)

TEL 052-733-0085 mail / mail@chanson-japonaise.com エルム シャンソン



た。大学の業務に追われ、かなり間が空いた分、今回に懸ける意欲は十分。『単なるハイライトではなく、岩田さんの演出でオペラの魅力を凝縮した独創的な舞台にした』と抱負を語る。

野剛は、中田喜直の「夏の思い出」、歌曲集「海四章」ほかを山本敦子のピアノで。2人は名古屋二期会のオペラで共演しており、デュオが聴けるかも。

ゆうこ♡バレエ ゆうこ♡バレエスタジオ(吉見優子主宰)が第23回バレエ・フェスティバル「創作人魚姫」(7月22日・芸術創造センター)を開いた。

「人魚姫」は有名なアンデルセンの童話を基に、吉見自身が演出、振り付け自身も演出、振り付け

けた。人魚姫(柴田杏子)、王子(山田裕也)、松岡伶子(山田裕也)、母親&隣国の姫(仲条優理)、魔法の杖(雪乃ら中心ダンサー)はもちろんだが、子供たちまで全員が、元気づけられた。これにまず好感を持った。

吉見が7年ぶりにダンスとして、自作の「Thank you for raising me up to this day」(今まで育ててくれてありがとう)を両親に感謝を込めて踊った。彼女の気持ちがよく伝わる作品だった。

ジャズを中心にした17曲を、アダルトなムードたっぷりにつづったショータイム。長谷川元志、岩瀬麻由らの主力を軸に、さまざまアンサンブルが連続して繰り出された。

松波千津子15年ぶりのリサイタル

10月7日 電気文化で「ルチア」

名古屋を代表するソプラノ松波千津子が10月7日(午後5時30分)電気文化会館で7回目のリサイタルを開く。

2003年に、名古屋市芸術奨励賞受賞記念のリサイタルをして以来、実に15年ぶり。満を持して取り組むのは「ドニゼッティのオペラ「ルチア」。



松波千津子

渡部純子・初鹿野剛・伊藤仁美 音ペン賞受賞者が「音環Ⅶ」

9月27日・電気文化会館

名古屋音楽ペンクラブ賞の受賞者によるコンサート「音環(おんかん)



伊藤 仁美



初鹿野 剛



渡部 純子

Ⅶが、9月27日午後6時45分から伏見の電気文化会館で開かれる。ソプラノ渡部純子が、ガーシュイン「サマータイム」や「シエナンドー」「深き河」などアメリカ作品を集めて。ピアノは原田綾子。バリトンの初鹿野剛が、9月27日午後6時45分から伏見の電気文化会館で開かれる。

ちびっ子、イキイキと「人魚姫」



ゆうこ♡バレエ「人魚姫」

ジャジーなアダルトのステージ



神澤千景バレエ「ラ・フォーレ・ジュネ」

コレオグラフィ(振付家)徳山博士の卓越した手腕と発想に拍手。神澤千景バレエスタジオ「サマーコンサート」(7月15日・アートピアホール)の第3部「ラ・フォーレ・ジュネ」熱狂の日だ。

1、2部のバレエコンサートとは様相を一変。コレオグラフィ(振付家)徳山博士の卓越した手腕と発想に拍手。神澤千景バレエスタジオ「サマーコンサート」(7月15日・アートピアホール)の第3部「ラ・フォーレ・ジュネ」熱狂の日だ。

推奨公演

名鶴ダンスカンパニー

「Nous」10月21日(午後1時30分、5時)アートピアホール。ダンスでつづるおしゃべりで、笑えてジーンとくる3つの



ドラマ①人生は夢だらけ②Amazing③Greatest in vitation④。振付・演出は、格闘技とダンスを組み合わせたブ

全国で注目の6組が出演 「ダンス・セレクション」

10月6日、8日・芸術劇場



@bozzo

愛知県芸術劇場では10月6日(午後2時)、8日(同)同ホールで「ダンス・セレクション」を開催。全国的な注目を集める6組のダンサーのステージを、3組ずつ上演する。

6日は①演劇的身体表現を模索する+81(柳本雅寛、松田尚子)の「Lily and I」②国内外で多彩な活動を展開する小暮香帆の「ミモザ」③コンドルズのメンバーでもある黒須青海が振り付けた「FESH

が振り付けた「FESH」(972)0430。

舞台批評

かやの木芸術舞踊団

天使のダンスにうつとりの



岡田礼加

とも思える高度なダンス術に直結しているのである。

プログラムは①短編②和太鼓合奏③新作「THE BEATLES OF EVER」の3部構成。9作の短編(群舞6、ソロ3)の大半は舞踊コンクールの入賞作品だが、私のベストは岡田礼加のソロダンス「生きる」(構成、振付・木原創&友里)だ。

児童舞踊の名門、かやの木芸術舞踊団の第23回舞踊公演(7月15日・小牧市市民会館)を見た。20年近い付き合いになるが、同団の舞台芸術に懸ける真摯な姿勢が一貫していることに感心する。その姿勢が、奇跡的

DanSkate

http://danskate.com
TEL 052-265-7900



畑戸利江子

畑戸・永田ら海外組が発表会に華

テアトルアカデミー

瑞穂(Northern Bohemian Theater of Opera and Ballet)が特別出演した。畑戸は筋力アップしたことが一目でわかる。コンテンポラリーダンスの

EATLESは、ビートルズに対する振付者(木原創&友里)のオマージュである。一音一音を大切に、彼らの優れた音楽を視覚化した。いたわゆるビートルズ世代にはうれしい作品だが、若者たちはどう感じたのだろうか。

第一人者、平山素子に似た体格になった。今回は自身で振付した「最期の鼓動」を踊ったが、その柔軟性と俊敏性は格段に進化した。宗像亮との「白鳥の湖」黒鳥のグラン・パ・ド・ドゥ」でも庄巻のステージを展開した。永田は「カルメン」でタリスマン・ケラン・パ・ド・ドゥ」ほかを披露。体格を生かしたダイナミックなダンスに、一層の自信と華やかさを加えた。現役組では、春の祭典を踊った大宮祐未が絶妙なタメと間の良きを見せた。流麗さを増した加藤恵梨は梶田真嗣との「エスメラルダ」(28日)で観客を魅了。長谷川元志と「エスメラルダ」(29日)を踊った和明香里はメリハリある演技で光彩を放った。

フラメンコの加藤おりは 2人の弦楽器奏者と共演



加藤おりは・高山典子

24日 5/Rで

フラメンコの加藤おりはが旧知の高山典子(ヴァイオリン)、上遠野忍(フラメンコギター)と共演。9月24日(午後1時30分)5/Rホールで「Reunited」めぐりあう魂を開く。

テーマは「人と人とのつながり」。プログラムは上遠野が作曲した「Reunited」天使の思

フルメンコの加藤おりはが旧知の高山典子(ヴァイオリン)、上遠野忍(フラメンコギター)と共演。9月24日(午後1時30分)5/Rホールで「Reunited」めぐりあう魂を開く。

テーマは「人と人とのつながり」。プログラムは上遠野が作曲した「Reunited」天使の思

圧巻だった野黒美、中谷のステージ



野黒美美夢(撮影・和光写真)

川口節子バレエ団

川口節子と娘の松村一葉。名古屋地区を代表する2人のコレオグラフィの創作作品を自当に出掛けた「川口節子バレエ団定期公演」だったが、今回は作品ではなく、素晴らしい2人のダンサーに目を奪われた。野黒美美夢と中谷友香だ。

「エスメラルダ」のバレエーションを踊る野黒美を見て、第1回世界バレエ・モダンダンスコンクール(1999年)で金メダルに輝いた中国のヤン・タンタンを連想した。それほど美しく伸びやかでシャープな演技だった。

舞台批評

3歳から高卒まで、川口バレエで研鑽を積んだ彼女は、この9月に渡米

無機質なユーモアと明るい虚無感

星の女子さん

日常の虚実とメルヘンの毒の融合で現代のおとぎ話を紡ぐ劇団星の女子さんの新作「うつくしい生活」はグリム童話がモチーフである。言葉遊びを織り込んだ話には無機質なユーモアと明るい虚無感が漂い、寓話的なファンタジーも弾んだ。

短編「鼠と小鳥とソーセイジ」の続編のような物語が、グリム兄弟(二宮信也)を進行役にして進む。不幸な結末を迎えるはずのソーセイジ(岡本理沙)とこもり(伊藤文乃)とねずみ(まこと)は、甦っては幸せな暮らしを続けるが…。

童話の世界と人間世



(撮影・佐藤元紀)

「来年からはオーストリアのバレエ団でプロとしてのキャリアをスタートさせるという。『ジゼル』第2幕のバド・ドゥを踊った中谷は、精霊になったジゼルの哀しみと切なさを完璧に描出。重力を感じさせないアップダウンは、音のとらえ方が巧みで、

抜群の平衡感覚を備えているからだろう。彼女は06年から熊川哲也Kバレエカンパニーで活躍。14年には川口バレエ団に復帰し、プリマ兼指導者としてバレエ団に貢献している。19年5月に開催する40周年記念公演「ジゼル」にも主演が決まっている。

どぎつい設定、凄み感じたドラマ

廃墟文藝部

廃墟文藝部の「ミナト」は、不穏な館「水底館」を訪れた家庭教師が、人魚姫をモチーフにした作品内小説を思わせる兄妹に魅入られる物語。

日常から隔絶した舞台、過酷な運命の登場人物、強烈な言葉の選択など、近年のライトノベルほかエンタメの意欲作との同時代性を感じる。難病や愛憎のどぎつい設定も、過剰でソリッドな物



(撮影・佐藤元紀)

野黒美、中谷に共通しているのは、バド・ドゥの間、素顔が出ないこと。つまり段取りを追うのではなく、エスメラルダやジゼルになり切り、役を生きていること。優れた指導を受けてきた証である。

(8月11、12日・芸術創造センター)

ような物語の中でリアルさが息づくのは、作・演出の渡山博崇が登場人物の心の裏を丁寧に掘り取っているからだ。笑いど涙が清々しく、絵本の

ような美術も奏功した。出演は神谷尚吾、中島由紀子らの客演陣も含め8人。心と体の緊張関係を探りながら個性豊かな役に生命力を注ぎ、共演

者との劇的葛藤や観客との心の交流を楽しんで物語を膨らませた。

(7月27・29日・七ツ寺共同スタジオ)

(桐)

問奏曲

今年「赤い鳥」の創刊から100周年になる。1918(大正7)年、鈴木三重吉が児童文学雑誌として発刊した。これがきっかけとなり、野口雨情、西城八十、中山晋平、北原白秋、山田耕柞ら多くの作家によって今も歌われる童謡・唱歌が続々と生まれた。

私の年代は幼少期、ま

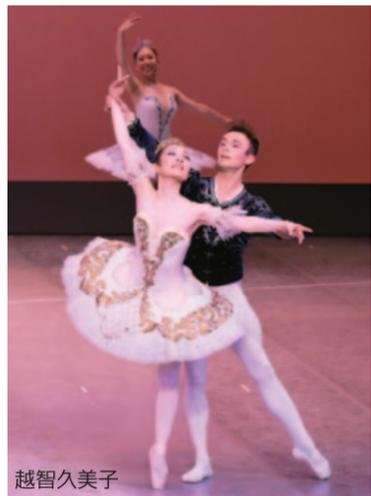
だが、容姿の、動きの、仕草の何と若々しいことか。凛として美しく、風格があつて優雅。骨折など度重なるけがを経験しているだけに超絶技巧は見られなかったものの、音楽を体に取り込んだ踊りの麗しさは際立つ。

精密な技巧の安定感も抜群。日本的な柔軟さや品の良さがあがり、指先まで気配りした感情表現は詩情に富む。舞台の空気を完全に支配し、魅力あふれるプリマとはどういふ存在かを実証して見せたのだ。

共演の渡辺裕、大下結美花、中西愛里紗、奥田桃子ら女性ダンサー16人も繊細で伸びやか。身体を創意工夫で追求する抽象バレエならではのフォーメーションの数々を誠実に造形した。

演出・再振付も越智久美子だ。主役の資質とソリストや群舞の鍛錬が響き合つての流麗感に満ちた舞踊、色彩豊かなビゼーの音楽、清らかな衣装…。洗練美と躍動美が輝きを放つたのである。

(7月25日・名古屋芸術創造センター)(桐)



越智久美子

(撮影・田中聡/テス大阪)

「理想のプリマ像」示した久美子

越智INバレエ

観客を高揚も陶醉もさせるバレエの本質的な魅

力は、速い回転でも高い跳躍でもない。ダンサーの血や肉となった端正で優美な技巧と豊かな感情表現が調和一体となった爽快感なのだ。

そう改めて強く心に感じさせたのが、越智インターナショナルバレエ第35回フレッシュバレリーナフェスティバルの「SYMPHONY IN C」で主役を踊った越智久美子である。

「超」のつくベテラン

加藤昌則のクラシックギモン解明 2nd!

歌人俳人 シューベルト、恋愛小説家シューマンの巻

2018年11月10日(土) 15:00開講(14:30開場)

作曲家の人物像、その音楽の魅力、作曲のワザ...などに迫る新感覚レクチャー! 各回ごとに2人の作曲家を取り上げ、考え方や生き様、作品を通してその特徴をわかりやすく解説します。

チケット(全自由席) ※未就学児童のご入場は、ご遠慮ください。

一般...前売2,500円(税込) / 当日3,000円(税込)
高校生以下...前売1,500円(税込) / 当日2,000円(税込)

【今後の開催予定】
3rd 2019年1月18日(金) 意外に前向きドビュッシー、意外に保守的ラヴェルの巻
Final 2019年1月19日(土) 加藤昌則 Specialソロコンサート

公演のメコンビジネスアシスト(MBA)イベント・クリエーション部
詳細は 電話 052-935-1630 (平日10:00~18:00)
HITOMIホール 名古屋市中区葵三丁目21番19号 メコンANNEX 5F

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6480円(税込)です。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面に名前を掲載(希望者のみ)。会員の関係する公演、イベント情報を優先的に掲載させていただきます。

お申し込み、お問い合わせは(株)マネージメント・プロ052-50085095。(5008)5095。郵便振替口座00880-06-206130。

私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

青山 皆江 小倉ひろこ 田淵友佳理
秋田巴喜子 越智久美子 玉田 弘子
阿久津紀子 小野由加利 つつみあつき
浅井 亮子 加藤 静子 手塚 淑子
荒川 洋子 金澤 志保 戸田美江子
出田 光代 蟹江 尾八 中川 幸作
伊藤 敬 神谷久美子 仲条 優理
伊藤 直樹 黒沢 優子 夏目 久子
稲垣 舞比 小池 真琴 名鶴ひとみ
井上 初子 工藤寿々弥 西川 長秀
齋 千龍 榎原菜生末 野々山保治
植村麻衣子 佐藤 典子 野村 祐子
内田寿千代 佐藤美智子 服部 節子
内田 寿典 澤脇 達晴 服部はる江
内田 寿晴 島田 倫子 花柳 磐優
内田 寿哉 白樺 八青 林 雅仁
内田るり 瑞 澄依 洲本晴都子
内田るの千鶴 すまろしほ 松本 道子
内田るの美 鈴木久美子 見波 紀子
内田るの美知 鈴木 文雄 みやちとこ
大寺 資二 角田真優美 宮西 圭子
岡田 一男 高橋 肇 山口 雅子
岡田 純奈 武市 孝三 よしみゆっこ
岡崎 保彦 竹元まき子 渡部 千枝

和光写真/和テス・大阪/榊三光/Hide Dance Lab./和ビデオ出版社/松岡伶子バレエ団
演劇集団キャラメルボックス/NORIKO BALLET STUDIO/かやの木芸術舞踊学園
春日井市日本舞踊協会/特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木伊利子
フィルハーモニー・ウィーン・名古屋/明珠会 山村栄乃/川口節子バレエ団/川島ナナバレエ団
メリー・アーティストカンパニー/スマイル・ミュージカルアカデミー/安田美香子バレエ団/Office KAN

後世に残したい日本の童謡・唱歌

だ家にテレビはなかった。ラジオで聴いた童謡・唱歌は、間違いなく生活の一部だった。100年の時が過ぎ、そこで歌われた風景や習慣は、今は都会では少なくなつた。

「薨(いらか)の波」「困(いり)の端」「風あけ、羽根つき」など、今の子供にはほとんど縁がない。時代に合わない歌は、だんだん歌われなくなった。もう過去の作品で、必要がなくなつてしまったのか。

季節の移り変わりを、情緒あふれる言葉とメロディーでつづつた童謡・唱歌は日本特有のもので、ほかにはあまりない気がする。そんな文化が消滅していくのは、なんとも寂しい。世界文化遺産に申請してもらえないだろうか。(上原宏)



ドビュッシーの歌曲に、トマ・ハムレット、マヌエラ・マンソンのアリアなど、フランス作品を並べた。略歴を見ると初リサイタルのようだが、志向のはっきりした内容だ。



ソプラノ・川越未晴のリサイタル(7月28日・5/Rホール)。若手ながら実力を感した。

難曲もクリア、溢れる大器の予感

ソプラノ・川越未晴

た。アリアはどちらもか
なりの難曲だが見事に歌
い上げた。

持ち前の美声と巧みな歌いぶりは、実力派の
レッテルが張れる。しい
て言うなら、やや声が硬

オケでは体験出来ない楽しさ満載

コントラバス4

珍しさが先行した「コ
ントラバス4」(7月27
日・HITOMIホール)
だったが、予想外の楽し
さを味わった。

榊原利修、森田真理、高
柳安佐子、佐藤美穂の4
人は、セントラル愛知の
コントラバス奏者。オー
ケストラでは、楽器は大
きいもの目立つ場面は
少ない。その欲求不満解
消?で、オケではできな



い、聴けない奏法などが
満喫できた。
前半はタンゴ。ピアン



く、力が入りすぎる気が
した。
愛知県立芸大、同大学
院修了。音楽を学んだの

は17歳からと言うが、す
でに自分なりのスタイル
を持っている。技術に頼
りすぎず、自然体で歌う
ことを心がければ、大物
になる素質は十分だ。

価値ある継続力、妙味ある編曲も

ダブルリード

楽器の特色を大いに発
揮した名古屋ダブルリー
ド

ラ3曲、アルベニス「タ
ンゴ」、ラ・クンパルシー
タほか。後半は歌をテー
マに、ロッシェニとヴェ
ルディ「椿姫」のアリア、
日本の童謡を集めた「ふ
るさとの四季」など。

地味なクラシックコン
サート?の心配は一気に
吹っ飛び、満員の聴衆も
盛り上がった。さらにア
ンコールがAKB、演歌
のヒット曲ときて、私も
ぶっ飛んだ。
リーダー榊原の手柄に
よるところが大きく、今
後の展開が楽しみだ。



なるが、どれも曲の雰囲
気をよくとらえていた。
最後に演奏したメン
バーの自作曲が、童謡の

「セヴィリアの理髪師」
「カルメン」第一組曲など
スペインもの中心だった
のは、8月に国際ダブル
リードフェスティバル
参加を踏まえてのこと。
チック・コリアの「スペ
イン」まで登場した。
特殊な楽器編成だけ
に、編曲の妙味が勝負に
プロの魅力だ。

メロディーをうまく取り
入れ楽しませた。遊び心
のあるもの、このグルー
プの魅力だ。

9/30(日)発売開始!

京響プレミアム

岸田繁 交響曲第二番 初演

2018年12月4日(火) 19:00 開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

6,500円(税込・全席指定) ※未就学児入場不可



岸田繁
(作曲家/くるり)



広上淳一(指揮)



京都市交響楽団(管弦楽)

作曲家 岸田繁の壮大なシンフォニー「交響曲第1番」の
世界初演から2年。
広上淳一、京都市交響楽団とタッグを組み
新曲「交響曲第2番」を作成し、新たな「オーケストラの世界」を
感じるプレミアムなステージです。

お問い合わせ クラシック名古屋 052-678-5310

チケットお問い合わせ

アイ・チケット 0570-00-5310 clanago.com/i-ticket (座席選択可)

他 有名プレイガイド

主催:公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団/京都市

制作:MBS/京都市交響楽団/ノイズマッカートニー 協力:クラシック名古屋/中京テレビ事業

Wiener Ring-Ensemble New Year Concert 2019. 2019年1月4日(土) 19:00開演. 愛知県芸術劇場コンサートホール.

プラハ交響楽団 Prague Symphony Orchestra New Year Concert. ニューイヤー名曲コンサート. 2019年1月13日(日) 19:00開演.

羽田文史 Hagiwara Fumichi. 9月23日(土) 19:00開演. 9月24日(日) 14:00開演. 10月4日(日) 14:00開演.

藤田真央 Maeda Makoto. ピアノ・リサイタル. 10月24日(土) 19:00開演. ザ・コンサートホール.

超絶!ヤヴォルカイ兄弟のピアノ三重奏. 2018年11月13日(日) 19:00開演. 電気文化会館 ザ・コンサートホール.

クレール・マリルゲ Claire Marillegre. ピアノ・リサイタル. 2018年11月8日(土) 19:00開演. 電気文化会館 ザ・コンサートホール.

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ. クラシック名古屋. 052-678-5310. 名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F.

クラシックコンサートのチケットは アイ・チケット 0570-00-5310 (10:00~17:00 ※日祝休み). アイ・チケット web 検索.

クラシック名古屋のプレイガイド「アイ・チケット」. 多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが丁寧に対応いたします.